

震災復興航空写真展 開催

阪神淡路大震災から8年が経過し、今年もまちづくり会館1階のオープンギャラリーで復興によるまちの移り変わりを紹介した航空写真展を行います。

復興のまちづくりは、安全で安心なまちづくりの原点の一つでもあることからこの写真展を平成11年以降毎年1月に行っております。(今年で5回目となります。)

毎年多くの方のご来場をいただき、熱心にご鑑賞い

ただいています。



展示している航空写真は、震災復興土地区画整理事業・再開発事業が行われている区域を震災前、震災直後と現在の様子を撮影したもので、それぞれの地域での復興の様子がわかるようになっています。

開催期間: 1月5日(日)～

31日(金)

(水曜日は、休館です)

開館時間: 午前10時～午後6時

今年も多くの方のご来館をお待ちしています。

まちづくり学校専修講座ただいま開催中



本年度から装いもあらたに開講した「こうべまちづくり学校」は、春の基礎講座に引き続き9月からは、専修講座の7コースを開催しています。

すでに昨年末までに、「コミュニティセミナー」「まちづくりゼミ～地域からのまちづくり～」「まち歩き

実践ゼミ～まちづくりの実例を通して～」の3コースが終了しています。複数のコースを受講された方には、きつい日程にもかかわらず各コースとも毎回盛況でした。

出席率も、75%を超えた基礎講座には及ばなかったものの平均の出席率は約60%、修了率は50%を超えました(終了した3コースの単純平均)。基礎講座の修了と併せた卒業の要件を満たされた方もすでに18名になっています。まだ開催中の4コースの熱心な受講風景を考えると初年度の卒業者は、かなりの方になると思います。

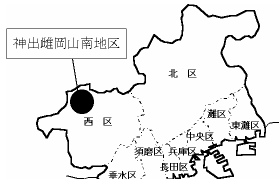
すでに、15年度のまちづくり学校に向けた準備も始めており、これまでいただいたアンケートなども参考にしながらより充実した学校にしていきたいと考えています。

連載 「コンパクトタウンづくり」活動報告

第9回 かんでめっこさんみなみ 神出雌岡山南地区 (神戸市西区)

■神出雌岡山南地区について

市街化調整区域におけるコンパクトタウンづくりのケーススタディとして、神出の雌岡山の南部に位置し、地域の方々が農業振興や農村の活性化に取り組んでいる7つの集落を対象としてはじまりました。



神戸芸術工科大学の齊木教授をアドバイザーに、これまで熱心にワークショップを用いて地域のかかえる問題点を出し合い、短期的な課題として「公共施設を生かす」「コミュニティづくり」「農を生かした観光交流」、長期的な課題として「望ましい交通ネットワーク」「ため池の利用活用」「土地利用のあり方」に分類し、それぞれの解決に向けての検討を進めているところです。



■神出ファームビレッジ

神出北地区にある神出ファームビレッジは、コンパクトタウンづくりにとって重要な拠点施設です。この施設は都市と農村との交流をテーマに平成10年に完成し、研修室、食堂、管理室のほか、野菜の直売場や自転車のレンタル施設（神出サイクリングターミナル）、市民農園などもあり、都市からの訪問者を暖かく迎えてくれています。



■神出サイクリングターミナル

神出は地形的に起伏が少なく、また、北区の子田地区まで神出山田自転車道が整備されているなど、自転車で走るには申し分のない環境です。この環境を活かし、地域の方々がレンタサイクル事業に乗り出しました。サイクリン



グを促進するために「神出の里マップ」も作りました。レンタル料2時間300円、自転車は常時30台と、安く便利です。

■ひまわりの里

平成13年度に開催された「神戸21世紀復興記念事業」の一環で「ひまわりの里・実行委員会」が中心となって神出町の10haの土地に25万本のひまわりを植栽し、いろいろなイベントを実施しました。今年も引き続き「ひまわりの里」を目指して、ひまわりの植樹やクイズラリー、ひまわりの絵の募集などを行いました。



また、神出町東地区では「梅の里」、神出町北地区では「ブルーベリーの里」として木の植樹、果実の製品化などに取り組んでいます。

■他地域との交流

神出北地区では、西農政事務所の紹介で2年前から東灘区本山南地区と交流を進めています。より多くの人に神出を知っていただく取り組みとして、本山南地区に朝市のための野菜を提供したり、神出のレンゲまつり、あるいは、しめ縄づくりと餅つき大会などに招待するなど、これらを通じて都市との交流が着実に歩んでいます。



また、神出北地区のほか、神出東地区でも灘区岩屋地区との交流がはじまっています。

■神出雌岡山南地区まちづくり研究会

座長の分玉 進さんのおはなし

12月22日に開催した「しめ縄づくり・餅つき大会」では、人口約300人の地域で、250人強の参加があり、地域外との交流はもちろん、地域内でも心がかよい、和が広がっているように思います。これからも、人と人とのつながりを大切に、色々なことに取り組んでいきたいと考えています。



(企画調整局総合計画課・西区まちづくり推進課)

“カルチャー・ショック(!?)インドネシア”

—その3「ジャカルタの都市問題」—

一般的に都市問題とは、人口の急増・過密によるインフラ整備の遅れや住宅難、大気汚染・ゴミ問題、そして交通問題等が挙げられますが、人口1,000万近くを擁するジャカルタでも、これらの問題は例外ではありません。今回は多くの写真も用いながら、ジャカルタの都市問題を紹介したいと思います。

1. 洪水被害

インドネシアの雨季は大体、11月頃から3月頃までですが、この間土砂崩れや洪水で数十人、場合によっては百人を超える死者が出ることもあります。

首都・ジャカルタではそれほど多数の死者が出ることはありませんが、昨年1月から2月にかけての洪水は数年ぶりの大きな被害をもたらし、死者30人以上、40万人近くが避難生活を余儀なくされました。



左上：水の中を走る自動車・
二輪車、そして歩行者
右上：高速道路もご覧のよう
な状態



左：街中で立ち往生の自動車
(後方右に見えるのは「ハ
ード・ロック・カフェ」ジャカル
タ店)

しかし、このような被害があるにも拘わらず、驚かされるのは、人々が全くそれに屈しないことです。

洪水の場合、確かに一時的な被害は出ますが、水はいつかは引きますので、「喉もとすぎれば…」ではありませんが、その後は何事もなかったかのように、皆、元どりの生活をしています。良く言えば楽観的で、悪く言えば学習効果がないというか、何というか…。



洪水で腰まで水につ
かりながらも、人々の
表情は信じられない
くらい明るい！

そんな彼らの姿を見ていると、何とどのんきな！と思っ

たこともありましたが、こんなに豊になっても、何かいつもつまらなさそうにしている日本人のほうが、ある意味では、おかしいのかもしれない。



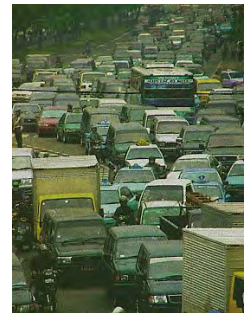
子供達も洪水を楽しん
でいる!?
(日本の子供達にこの
明るさはある?)

洪水の後は伝染病の蔓延という問題があります。肝炎やアメーバ赤痢といった、日本なら即刻、隔離が必要な病気もインドネシアでは珍しくなく、普通の水からも感染します。日本人駐在員が感染することもあります。幸い私はこのような病気に遭うことはありませんでした。これは普段からの「アルコール消毒」が効いていたためでしょう(笑)。

2. 交通問題&大気汚染

次は交通問題ですが、ジャカルタには地下鉄等のマストラがなく、市内は交通渋滞が慢性化しています。

鉄道もありますが、長距離列車が中心で、通勤には低所得者層の一部が近郊から通うのに利用されているだけで、一般的ではありません。



日本の戦後の混乱期を彷彿とさせる通勤風景
(屋根までギッシリ…)



このため、一般庶民の足はバスになります。しかし、バスはご覧のように排ガスを撒き散らして走り、ジャカルタの空はスモッグのためいつもどんよりとしています。

赴任している間、おそらく私の肺には一生分の窒素酸化物が吸収されたと思います。赴任してから排ガスで頭が痛く、ぼーとした状態が続きましたが、これは日本に帰って来てからも治りません。えっ？それは単にボケてるだけって？それは別の意味で、もっと困った問題かもしれません…(またまた笑)。

若松謙一(企画調整局総合計画課地域政策係長)

新着図書のご紹介

名 称	大分類名	著者名	発行元	発行年月
日本の近代土木遺産 現存する重要な土木構造物2000選	土木・緑化	土木学会 土木史研究委員会	社団法人 土木学会	01年3月
街の復興カルテ 2000年度版	阪神大震災	(財)阪神・淡路大震災記念協会	(財)阪神・淡路大震災記念協会	01年3月
地域政策の理論と実践	都市計画	鄭 小平	大学教育出版	01年6月
建物の見方・しらべ方 近代産業遺産	建築	日本産業遺産研究会	ぎょうせい	98年3月
市民参加のデザイン	まちづくり	世古 一穂	ぎょうせい	00年1月
地域学への招待	都市	松田 之利・西村 貢	世界思想社	99年10月
21世紀の「地域力」を創る 大都市近郊圏のまちづくり	都市	西村 貢	かもがわ出版	01年8月
風水とまちづくり	都市	上草 鋼一	落合 英秋	01年7月
都市の境界 建築の世界	建築	メディアデザイン研究所	メディアデザイン研究所	01年9月

当センターにふさわしい図書、資料をご紹介ください。担当：橋本まで。

まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

1月 5日(日)～31日(金)	震災復興航空写真展	神戸市都市計画局
-----------------	-----------	----------

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期 間	内 容・テ ー マ	主 催 者
1月 9日(木)～14日(火)	神戸大学写真部 部展	神戸大学写真部
1月23日(木)～28日(火)	丹水会展(水彩)	丹下 幸男
1月30日(木)～2月4日(火)	ろうきん公募写真展	(財)兵庫労働者福祉基金協会
2月 6日(木)～11日(火)	第6回神戸墨酔会展(水墨画)	神戸墨酔会

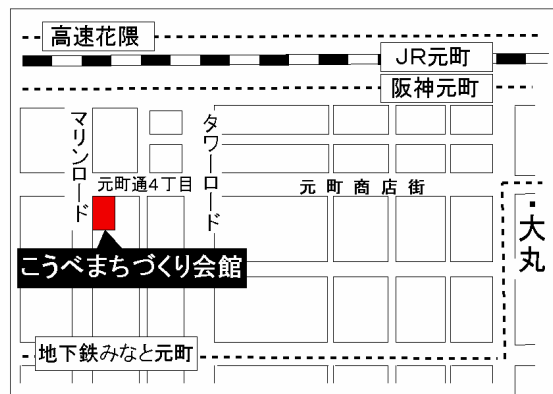
投稿のお願い

まちづくりセンターでは、「あーばんとーく」が読者の皆様の少しでもお役にたてるように、まちづくり協議会が行う地域でのイベントなどの行事案内やまちづくり協議会の活動の記事を募集しています。

誌面の許す限り最大限取り上げていきたいと考えています。

ご希望によっては、取材にお伺いすることもできます。

まちづくりセンター(電話361-4523)までご一報ください。



最寄駅

地下鉄海岸線みなと元町駅西口から1分
 高速花隈駅東口から3分
 高速西元町駅東口から5分
 JR・阪神元町駅西口から8分